

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(1)-イ	社会生活における資源循環の推進	施策	① 3Rの推進と環境負荷の低減化
			施策の小項目名	○水資源の有効利用
主な取組	雨水等の有効利用の促進		対応する成果指標	一般廃棄物及び産業廃棄物のリサイクル率
施策の方向	・良好な水環境の構築に向けては、下水処理水を高度処理した再生水及び雨水の利用促進を図るなど地域の実情に応じた水資源の有効利用に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
水が貴重な資源であることを県民一人ひとりが再認識し、節水や水循環に取り組むことで水を大切に使う社会を実現するため、一般県民向けに雨水や再生水等の雑用水等への有効利用に資する普及啓発資料を作成し、関連イベント等、関係機関・市町村・学校を通じて配布する。	県	水を大切に使う社会を実現するため、県民及び小学生へ雨水の有効利用等に関する普及啓発資料を配布			
		リーフレット等の配布数(累計)			
		18,900部	18,900部(37,800部)	18,900部(56,700部)	
担当部課【連絡先】	企画部地域・離島課		【 098-866-2370 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	水資源計画調査費			予算事業名	水資源計画調査費	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	直接実施	696	696	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	直接実施	700
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
水を大切に使う社会を実現するため、県民及び小学生へ雨水の有効利用等に関する普及啓発資料リーフレットを18,900部配布した。				水を大切に使う社会を実現するため、県民及び小学生へ雨水の有効利用等に関する普及啓発資料リーフレットを18,900部配布する。		

活動指標名	リーフレット等の配布数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	19,000部	18,900部	18,900部	18,900部	100.0%	順調	県HPで、雨水利用のリーフレットを利用用途に応じた雨水処理方法と雨水施設等を解説した雨水利用の手引を配布。小学校4年生へ「私たちと水」の副読本を県内小学校へ配布し、水の有効利用の普及啓発を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

小学校4年生向けの「私たちと水」の副読本を、県内全小学校に合計約18,900部配布し、「順調」であった。これらの取組により、県民等へ水の大切さや水の有効利用について、周知を図ることができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
継続的な取組が必要であることから、引続き学校施設等建築の説明会におけるチラシの配布や子ども向け自由研究等イベント、自然環境保全等をテーマとしたシンポジウム等での雨水有効利用チラシの配布、普及啓発効果の高い方法について検討し、周知活動を行う。	新型コロナの影響により、水に関連するイベントや学校施設等建築の説明会等が中止となったが、県HPにおいて、雨水利用導入による経費削減効果を掲載する等、雨水利用に関する資料の提示を行い、雨水利用の促進を図った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	平成25年度から継続して普及啓発資料の配布を行っているが、設置費用等のコストもかかり普及促進は容易ではない。雨水の利用方法や利用による経費削減効果等を示し長期的に当該取組を行う必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	継続的な取組が必要であることから、学校施設建築におけるチラシの配布や自由研究のイベント、自然環境保全のシンポジウムでの雨水有効利用チラシの配布、普及啓発効果について検討し、周知活動を行う。
⑥ 他地域等の動向(外部環境の変化)	本県の地理的条件を鑑み循環型社会を構築する必要があるが、雨水の有効活用が不可欠だが、本島では20年以上給水制限等渇水状況がないことから、県民の節水や雨水利用の必要性は、低下していると思われる。		
⑦ その他(改善余地の検証等)	雨水等の利用について県民の関心を高め、利用促進させていくため、引き続き、県民に対して情報提供を行い、より幅広く認識されるよう取組んでいく必要がある。		